

つなぐー 災害派遣の記録

(平成23年度～令和3年度)

令和4年4月25日
交通基盤部 河川砂防局

写真: 片岸海岸防潮堤(岩手県釜石市)



「工事中」がみらいをつくる! どぼくってオモシロイ!
静岡県交通基盤部



1 災害派遣の概要 ～派遣履歴～

派遣先	災害名	延べ人数
岩手県	東日本大震災 (平成23年東北地方太平洋沖地震)	98
岩手県山田町	東日本大震災 (平成23年東北地方太平洋沖地震)	25
熊本県	平成28年熊本地震	19
熊本県	令和2年7月豪雨	3
広島県呉市	平成30年7月豪雨	20
派遣人数合計		165

平成28年熊本地震
令和2年7月豪雨

熊本県 (H28～R2 / R2～R3)



第二平田橋



第二宮園橋



東日本大震災

岩手県山田町 (H24～R2)

岩手県 (H23～R3)



岩手県沿岸防波堤



片岸海岸

平成30年7月豪雨

広島県呉市 (H30～R2)



市瀬川尻本郷1号



市瀬川尻本郷1号

2-1 「つなぐー災害派遣の記録」

- 「つなぐー災害派遣の記録」: 本県の防災対策の参考となる大規模工事や長期間にわたる復旧・復興の記録(A4版 120ページ)



※派遣先(岩手県)で本県職員が担当した工事の一例

2-2 大規模工事事例

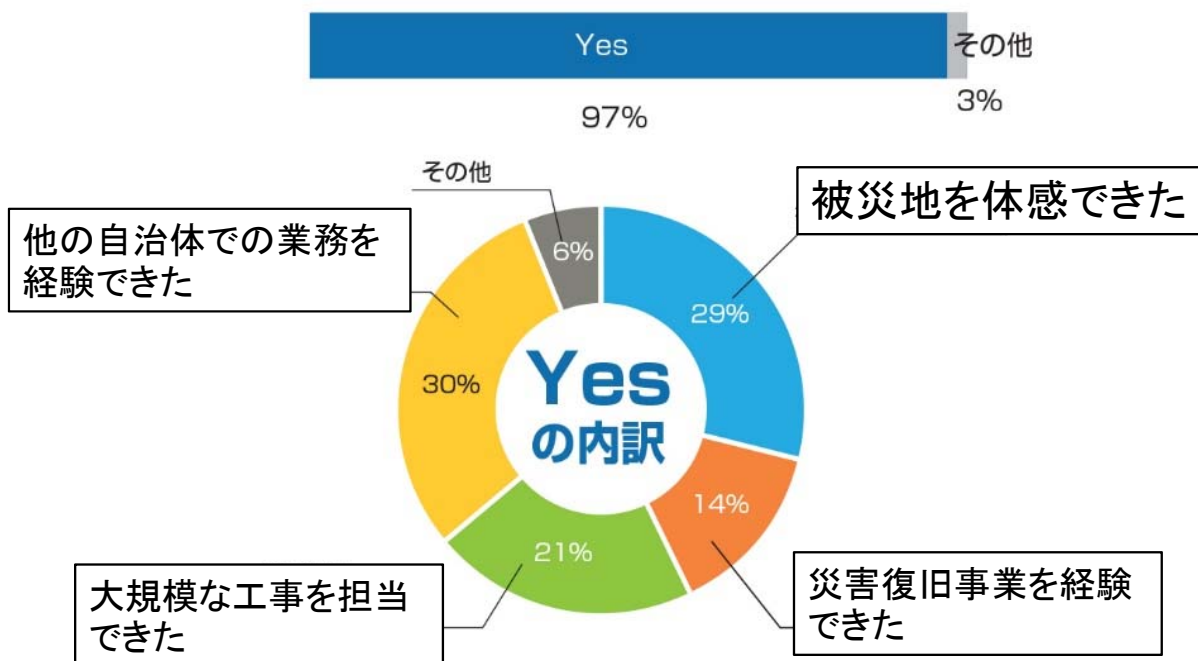


工事の記録(鵜住居川水門)

- 平成 24 年 3 月 標準図による災害査定を受ける
- 平成 25 年 3 月 右岸締切り工事(先行工事)の契約締結
- 平成 26 年 3 月 水門本体工事の工事契約締結
- 平成 26 年 5 月 工事着手
- 令和 1 年 8 月 復興ロードマップに沿って津波防御機能確保(仮壁の設置)
- 令和 1 年 10 月 鵜住居スタジアムで R.W.C 開催
- 令和 2 年 7 月 水門の本格運用開始
- 令和 3 年 3 月 水門本体工事完成

2-3 派遣職員の経験・知見を活かす

派遣職員の**97%**が土木技術者として良い経験になったと回答



2-4 派遣職員の経験・知見を活かす～事前復興行動計画の取組～

《事前復興行動計画》
～東日本大震災から得られた教訓・知見の活用プロジェクト～

～（H27～R1）取組集～

静岡県交通基盤部 2020年3月

“皆様の地域を守るために”
東日本大震災から得られた教訓・知見を
安全・安心に生かすプロジェクト

～事前復興行動計画の取組～

《事前復興行動計画》
～東日本大震災から得られた教訓・知見の活用プロジェクト～

交通基盤部の南海トラフ巨大地震等大規模災害への備え
～東日本大震災から得られた教訓・知見の活用プロジェクト～

静岡県交通基盤部
平成27年2月

【はじめに】
静岡県交通基盤部では、東日本大震災以降、岩手県を始め大規模な災害の被災地へ土木職員を派遣し、復旧・復興の支援をしてまいりました。派遣された職員は、現地での経験の中で多くの教訓や知見を学びました。私たちは、これを本県が大規模な災害に見舞われた時、迅速な復旧・復興に活かせるよう、平成27年に35項目からなる計画にまとめ、プロジェクトとして対策に取り組んでまいりました。

これらの成果は、今後の皆様の地域における安全・安心の確保に寄与するものと考えております。

令和2年6月

・体制強化・入札制度・用地処理・設計施工

2-5 事前復興行動計画の取組成果と具体例

応援体制の整備

市町へ技術職員を派遣する「ふじのくに災害復旧支援隊」を創設

復旧復興事業の連絡調整

市町連携チームの創設により、平時から政策などの情報共有を図る



市町被害

支援



【支援内容】

災害査定に関する業務全般

- ・発災後の現地調査
- ・応急対策の必要性の判断
- ・工法選定、施工範囲の決定
- ・測量、設計発注業務
- ・査定設計書作成
- ・査定申請、決定

3 今後の活用

- 今後の災害対応や新たな職員派遣に備え、研修等で活用するなど、技術力向上に取り組んでいく。
- 「事前復興行動計画」(平成27年作成)についても、職員の本県帰還以降の業務経験を踏まえ、見直しを行っていく。

つなぐ ～技術力向上～